

「三鷹の囃子・和太鼓連合会」

祭の盛り上げ、引き受けます！

日本のお祭りといえばハイキヤ、ドンドン、だれでも思い付くのが、お囃子と太鼓の音。

このたび、市内で活躍する和太鼓とお囃子の会が「三鷹の囃子・和太鼓の会連合会」を設立、その総会が6月30日三鷹市公会堂別館で行われました。連合会に参加したのは井の頭囃子、新川囃子保存会、牟礼はやし保存会、井口囃子保存会、西鷹囃子連中、三鷹はやし保存会、いずれも地元で活躍の6団体です。

きっかけは、昨年秋の三鷹市市民文化祭でした。恒例の「三鷹のはやし」と和太鼓のついで、その出演団体に三鷹市芸術文化協会が連合して加盟するいかと誘いをかけたのです。もともと交流もあつたみなさん、熱心な話し合いが交わられたものの、意外とすんなり決定しませんでした。

市は無形文化財となっている「新川囃子」と大沢の「三鷹はやし」、復活が自慢の出物を競い合いました。な



取り組む一丸ははやし、新しい伝統を作りつある「井口囃子」「西鷹の囃子」が、とても熱意は十分、伝統を守りつつ工夫を凝らし、技を磨きあっています。

当日、設立総会後に行われた披露では勇壮な和太鼓の響きに始まり、各会が自慢の出物を競い合いました。な



忙しい一時間でした。会長の堀江高治さんによると、各団体共通の悩みは後継者のことだそう。所属する三鷹はやし保存会でも羽沢小などの10年に渡る交流で、小学生から大学生の若い会員がいますが、なぜか女の子ばかり。全体的に20代、30代の男性が少ないそうです。「伝統を残すために連合会として何ができるか、課題はいろいろありますが、こうなればというところなく、和の心を大切で、みんなでゆっくりに相談していきたい」と語っていました。

連合会では、みなさんの声をお待ちしています。法被を着てみたい方、出演の依頼など、問い合わせは堀江高治 31-6346へ。

夏の風の中で 子どもたちとこぼれを身体で聞こう！

三鷹の森ジブリ美術館第2回イベント 夏休み特別朗読会

三鷹の森ジブリ美術館 三鷹市立アニメーション美術館では、夏休み特別朗読会を開催します。

このイベントは、子どもたちに人生をよりよく楽しく生きる力を身につけて欲しいと企画されたもの。詩の朗読を聞き、言葉として美しさと音としての楽しさを再認識することにより、子どもたちの時間がより豊かになるのではないだろうか。

朗読会は、詩人の谷川俊太郎さんと覚和歌子さんを招待。また、作曲家である谷川賢作さんをお招きし、ピアノ演奏をしていただきます。言葉の美しい響きとともに、楽しいリズムを身体で楽しんでください。

日時 8月6日(午後3時開演)1時30分開演、午後5時開演 開演前には館内を鑑覧いただけます。

※開演日のためショップ・カフェは営業していません。

◆場所 同美術館中央ホール

◆対象 対象は親子のペア、または小学生のペアで50組10人(定員を超えた場合は抽選)。

※同伴できるお子さんは小学生のみ。

◆応募方法 7月19日(金)消印有効までに、はがき住所・参加を希望される方の氏名と年齢・電話番号を記入し「三鷹〇〇〇〇」連番一〇一・83 三鷹の森ジブリ美術館8月朗読会へ申し込む。当選発表は招待状の発送をもってかえさせていただきます。

◆同美術館番 40-2233

◆今後の見学日 7月8日(月)11小、7月10日(水)16小、7月12日(金)10小、10月2日(水)10小、10月10日(水)11小、10月17日(水)11小、11月1日(日)14小、11月15日(日)11小、11月29日(日)14小、その他6校の子どもたちは、もうネコパスと遊びまわっています。



お友達と一緒にとっても楽しい

まるいけツアー開催子ども探検隊大活躍!!

丸池の里わくわく村の主催による「まるいけツアー」が6月22日、新川丸池公園をはじめ、隣接する勝淵神社、雑木林公園、原っぱ公園、そして今年オープンした展望広場(北側斜面地)を会場に開催されました。このツアーは、丸池とその周辺の魚・昆虫・植物などの自然観察をするオリエンテーリングで、丸池公園のオープンから数えて今回で3回目。今回もたくさんの子どもたちが参加しました。

今回はツアーに先立ち、展望広場の開園式が行われ、近隣の



原っぱ公園で観察する子どもたち

小・北野小・中原小・東台小の子どもたちが、広場で記念の植樹をしました。

ツアーの始まり。今回の指令は…①原っぱ公園で見つけた草や虫の絵を描いてみよう、②丸池で魚・虫・植物を見つけてみよう、③展望広場で周りを見渡してみよう、④雑木林公園でいろいろな種類の本を観察しよう、の4つ。最初にツアーのしおりをもらって出発。原っぱ公園では虫やガナで草花を、丸池では水槽の魚を、一生懸命観察してしおりに描いていきます。ツアーの最中、糸どもたちがさなぎからかえる決定的瞬間を発見。みんなでトンボを応援しました。

ツアーが終わり、神社でジュースを飲んでホッと一息。丸池の里の自然をたっぷり体験できました。また、今回のツアーでは、展望広場の愛称名の募集も行われ、子どもたちが思い思いの名前を投票券に書いて応募しました。決定した愛称名は、秋に開催される「丸池わくわくまつり」で発表されます。乞うご期待!!



この魚はなんて名前だろう?



「よんでみない?」
図書館では、毎年、夏休みに向けて小学生のみならず、おすめしたい本をのせた冊子「よんでみない?」を配っています。今月は、その中から5冊紹介します。

◆全ぼうらんずー「フンツまいになる」クリスティーン・ネストリンガー作・ひろのまようこ訳 偕成社

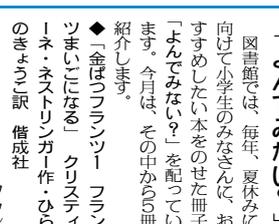
◆「おれウサギ係長」笹川奎治作 理論社

動物があまり好きではないけれど、ウサギの係長は、ひよんなことウサギ係長をすることになりました。しかもウサギ係の係長です。

◆「はかる」心かもの重さまで 大竹三郎作 大日本図書

心に重さがあると考え、昔の人々の知恵から、天秤のしくみと物の重さについて、実にわかりやすく書いてあります。

◆「もうひとつの世界」妖怪・あなごの心は、どのくらい重いですか? (高学年向き) 三鷹図書館番 43-9151



◆「ガラスのうま」征矢清作 偕成社

お父さんとお母さんが、大切にしていたガラスのうま。うまの足が折れてしまいました。セロテープでどめて手当をしている最中に、ガラスのうまは、すぐりの手をすりぬけ外へ逃げ出しました。

◆「もうひとつの世界」妖怪・あなごの心は、どのくらい重いですか? (高学年向き) 三鷹図書館番 43-9151



◆「ガラスのうま」征矢清作 偕成社

お父さんとお母さんが、大切にしていたガラスのうま。うまの足が折れてしまいました。セロテープでどめて手当をしている最中に、ガラスのうまは、すぐりの手をすりぬけ外へ逃げ出しました。

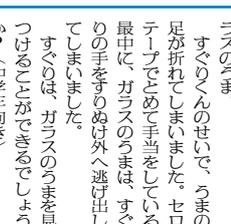
◆「もうひとつの世界」妖怪・あなごの心は、どのくらい重いですか? (高学年向き) 三鷹図書館番 43-9151



◆「ガラスのうま」征矢清作 偕成社

お父さんとお母さんが、大切にしていたガラスのうま。うまの足が折れてしまいました。セロテープでどめて手当をしている最中に、ガラスのうまは、すぐりの手をすりぬけ外へ逃げ出しました。

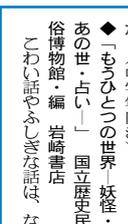
◆「もうひとつの世界」妖怪・あなごの心は、どのくらい重いですか? (高学年向き) 三鷹図書館番 43-9151



◆「ガラスのうま」征矢清作 偕成社

お父さんとお母さんが、大切にしていたガラスのうま。うまの足が折れてしまいました。セロテープでどめて手当をしている最中に、ガラスのうまは、すぐりの手をすりぬけ外へ逃げ出しました。

◆「もうひとつの世界」妖怪・あなごの心は、どのくらい重いですか? (高学年向き) 三鷹図書館番 43-9151



◆「ガラスのうま」征矢清作 偕成社

お父さんとお母さんが、大切にしていたガラスのうま。うまの足が折れてしまいました。セロテープでどめて手当をしている最中に、ガラスのうまは、すぐりの手をすりぬけ外へ逃げ出しました。

◆「もうひとつの世界」妖怪・あなごの心は、どのくらい重いですか? (高学年向き) 三鷹図書館番 43-9151